

平成 27年 2月 17日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 佐賀県立致遠館高等学校・平方 伸之
2. 講師氏名: Dr. Jasmina STEVANOV (京都大学大学院文学研究科)
3. 同行者氏名: 上崎 麻衣子 様 (京都大学大学院文学研究科)
4. 実施日時: 平成 27年 2月 7日 (土) 10:30~12:00
5. 参加生徒: 2年生 50人、 1年生 1人、 3年生 1人 (合計 50人)
備考: (例:理数科の生徒) 2年普通科の生徒のうち希望者
6. 講演題目: (英文) **The Pleasure of Being Deceived and the Pleasure of Understanding**
HOW We Have Been Deceived

(和文) だまされること、またどのようにだまされているかを理解することへの楽しみ
7. 講演概要: トリックアートなどを題材に用いて、視覚情報が人間の心理に大きな影響を及ぼし、それは脳科学にまでつながっているというお話をしていただいた。聴衆の多くは進路として文系を希望している生徒であったが、文理融合的な話をしていただき、生徒の視野をひろげることができた。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 80 分 質疑応答時間 10 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクターや電子黒板の使用による講演
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
同行者によるサポート
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
11. その他特筆すべき事項: